



2019年8月26日発行
通算 第197号

会員だより 2019年
9月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp
http://hanamidori.sakura.ne.jp/



秋のイベントに参加♪

10～11月は、区内でイベントがたくさん行われます。
私たちは大田区を花や緑でいっぱいになりたいという思いで各イベントに参加しています。
会員の皆さま!! ぜひイベントの手伝いや、当日来場者として参加してください!
楽しいですよ♪(緑ネット・イベント担当:堀崎)

秋の出展イベント一覧

秋のイベント準備会を9/10(火)11:30～当会事務所で行います。ご協力いただける方は活動アンケートに○をつけて提出してください。ご参加をよろしくお願いいたします。(担当:堀崎)

イベント名	日時	会場	出展内容
① 第47回大田区生活展	10月5日(土)10:00～15:00 10月6日(日)10:00～15:00 ★スタッフは8:30集合	消費者生活センター	花苗販売
② 第9回おたオープンファクトリー	10月 中止	テクノFRONT森ヶ崎	花苗販売
③ 第12回田園調布グリーンフェスタ	10月20日(日)9:00～15:30 ★スタッフは8:00集合	田園調布 せせらぎ公園	花苗、球根等の販売 活動紹介展示、セミナー
④ 第9回いつつのわふれあい祭り	10月27日(日)10:00～15:00 ★スタッフは8:30集合	大森東特別出張所 隣接 多目的広場	花苗、球根等の販売
⑤ OTAふれあいフェスタ2019	11月2日(土)10:00～16:00 11月3日(日)10:00～16:00 ★スタッフは8:30集合	平和の森公園	花苗、球根等の販売 縁側カフェなど
⑥ 第10回おた住まいづくりフェア	11月17日(日)9:00～15:00 ★スタッフは8:00集合	大田区産業プラザ PiO	球根の植付け体験ワークショップ

今年のイベント時の様子



①生活展



②オープンファクトリー



③グリーンフェスタ



④いつつのわふれあい祭り



⑤OTA ふれあいフェスタ



⑤縁側カフェ
(OTA ふれあいフェスタ)



⑥おた住まいづくりフェア



「宿根草ガーデン見学会」：7/31(水) 大岡山駅前コミュニティガーデン、入新井公園花壇

20名を越す参加者の方々と、大岡山駅前コミュニティガーデンの案内を講師の牧野さんに話を伺いながら歩きました。地元商店街の方や中学生も参加しての活動とのこと、素晴らしいと感じました。

高木(ナンキンハゼ)、低木(シモツケゴールドフレーム、ホソバヒラギナンテン、アジサイ‘アナベル’)、多年草(ツワブキ、ギボウシ、ティアレラ‘ハッピートレイル’)…



大岡山駅前
コミュニティガーデン



いただいた資料を見ながら植物を探すのに精一杯。その後、大森の入新井公園花壇に場所移動。こちらは低木、宿根草、ハーブと各エリアに分かれ年間を通しての植栽が素敵でした。
(石川英子)



入新井公園



第185回せせらぎ園芸セミナー

「誰でもできる水環境の調査～パックテストでCODを調べてみよう～」：8/4(日)田園調布駅せせらぎ公園

今回の園芸セミナーは前半が水のCOD(水の中に含まれている有機物の量を示す指数)についての説明。水中に有害な有機物があると、二酸化炭素が増加し水質が著しく悪化し人類も含めてあらゆる動植物に害をもたらします。そこで発生した水害問題で有名な足尾銅山鉱毒問題、イタイタイ病、水俣病、四日市ぜんそく、新潟水俣病があり、環境保護の立場で国と自治体が関係各省、各セクションを動員し水質の環境基準を作成し、全力で水の浄化に取り組む姿勢と対策を講じている現状の説明です。

後半は簡単な器具(パック)を使い、身近な水のCOD調査を参加者全員で体験しました。共立理化学研究所製の2ccほどのポリエチレン容器(過マンガン酸カリウム試薬内蔵)を全員に3本ずつ準備し、その容器に水道水、微量の醤油を混合した水、スポーツドリンク

ク水を入れよく振って 講師:上田実氏(共立理化学研究所) 5分間机上に置きその化学変化を観察しました。水の種類によりCODの色彩が異なりました。最後に水の透明度をガラス製容器(径5cm、高さ130cmほど)に水道水を入れ、途中に標識版を上下に動かし、上から覗いて何cmで見えるかを観察しました。セミナーに参加し、パックテストでCODの含有量が水の色で判る実験を体験し、皆がそれぞれ水の汚染度に関心を持ちました。(武藤昭紀)



「第16回 こらぼ大森夏まつり」～てをつなごう！ みんなのちから！～：8/18(日)

今年の当会のテーマは「納豆のふたの額で飾り物を作ろう」でした。

若い親子連れがたくさんみえて、熱心に額縁の柄を選んでいました。「私、ここでずっと作っていたい！」というお子さまもいて嬉しく、ほんのひととき、100人もの人々が楽しんでくれたことを感謝と共に、汗の流れも喜びに変わりました。(吉野ミエコ)



「みどりの縁側」夏休み特集 平和の森公園展示室

★「夏のわくわくスクール」講座：7/30(火)、8/22(木)

大田区立小中学校では、夏休み中に子どもたちの個性や能力を伸ばすとともに、学校の授業では経験できない体験活動の充実を図ることを目的に「夏のわくわくスクール」を実施しています。昨年度は、小学校で延べ2,248講座、中学校で延べ753講座が開催されました。講座の指導には多数の地域の人たちが協力しています。

私たちがその中の一員として、大森第五小学校の「夏のわくわくスクール」のお手伝いしています。

* 7/30(火)「ストーンペインティング」



17名の児童が、スクールサポーターと一緒に学校から「みどりの縁側」にやってきました。

まずは川に見立てたブルーシートの河原から小石を拾って…

その後次々と一人2個の石に個性溢れるペインティングができあがっていきます。子どもの自由な発想ってなんて楽しいのでしょう！



「おにぎりとソラマメ」だそうです。

* 8/22(木)「藍染めでマイバッグをつくろう！」

大森第五小学校わくわくスクール第二弾！参加した15名の児童に、今年も地球チャイルドの松本先生が、ご自身で育てた藍の葉っぱを使って藍染めを指導してくださいました。

今回の特徴は生の藍の葉を子どもたちがミキサーにかけて染め汁を作るところから体験したことです。



★ネイチャーウォーク「セミの羽化観察会」：8/3(土)



今月のネイチャーウォークは午後6時から「セミの羽化観察」でした。

全員揃ってから、セミの生態や観察のポイントをお話ししながら、暗くなるのを待ちます。

7時頃から外に出て、羽化の準備として木に登るセミ探し。あちこちで「いたよー！」の声。

ゆっくり木に登り、止まった幼虫は、そこから約一時間掛けて羽化します。大人も子どもも大喜びです。

毎年この時期の人気プログラムです。今年もよい天気で、たくさん観察できてよかったです(^)



安全コラム

かゆい！痛い！夏のトラブル「虫刺され」

植物を相手にする私たちの活動は真夏だからこそ、こまめな除草作業や剪定作業が必要となり、草むらに入ることも多くあります。この時期、作業をする私たちを悩ませるのが「虫刺され」。

では、作業中の私たちがどんな虫に注意すべきか、予防法や刺された時の対処法などを調べてみましょう。

【ハチ】

ミツバチやスズメバチをはじめ、たくさんの種類が生息しています。



ハチに刺されると、刺された部分が強く痛み、赤く腫れるのが特徴。ハチの毒は水に溶けやすいので、刺されたらまず水でよく洗い流してからステロイド軟膏を塗り、病院で診察してもらいましょう。


初めてハチに刺された場合は、赤く腫れて激痛を伴いますが、大抵は1日で症状が治まります。しかし2回目以降は、蕁麻疹や呼吸困難などが現れる「アナフィラキシーショック」症状になる場合があるので注意が必要です。命に関わる状態に陥る可能性もありますので、救急車を呼び早急に病院へ行かなければなりません。

【毛虫】

春から夏にかけて多くなるのがドクガ、マツカレハ、イラガなどの毛虫。刺されると強いかゆみや赤いブツブツができ、種類によっては激しい痛みを感じることもあります。毛虫の中でもチャドクガは毒を持つ毛虫の中でも最も有名な虫のひとつ。毛虫である幼虫時代から成虫まで毒を持ち続けます。刺されると『夜も眠れないほど痛痒い』ともいわれ、厄介なのは、虫から抜けた毛に触れただけでも症状が起こってしまうこと。

チャドクガが好むのはツバキ科の植物(ツバキ、サザン

カ、チャノキなど)。

ドクガの毛に触れてしまったときは、すぐにセロハンテープで皮膚についた毛を取り除きシャワーと石けんで洗い流しましょう。マツカレハやイラガの針は目で見えるので、ピンセットなどを使って取り除きます。その後ステロイド外用剤などで治療しますが、毛虫のかゆみはしつこく長引くもの。症状が強かったり全身に炎症などが現れたりするときは医師に相談しましょう。

虫に刺されると、単なるかゆみだけでなく、以下のような症状が表れることがあります。

- 吐き気がしたり、息苦しくなる
- 脈が弱くなる
- けいれんを起こす
- 痛みや腫れがひどくなる
- 尿意や便意が頻繁に起こる

このような症状が出たら、迷わず病院へ！虫刺されで病院へ行くななんて気が引ける…とは思わなくても大丈夫！辛い時には医師に相談し、適切な薬を処方してもらってください。

外に出る時は肌を露出しないことが予防になります。同時に携帯蚊取りや、虫除けを利用しましょう。また、黒っぽい服はハチや蚊を寄せ付けてしまうので、白っぽい服が虫除けには有効です。汗をかいていると蚊が寄ってくるので小まめに拭くのもポイントです。

会員の眩き♪

こんなとき、あなたならどうする？

“花の名前が出てこな～い”

先日蒲田駅前花壇の1班の班長当番日。事故もなく無事に作業も終わり、班長ノートに申し送り記入の時「**ラザニア**補植3本」と記入。Oさんに「小山さん？ラザニアはイタリアン。」「あ～**ガザニア**でした！」そんな事の毎日で私は花とみどりのまづくりの作業に悪戦苦闘です。

私は**シニア**、この花は**ジニア**。そんな覚え方では数ある花々に無理。ペンタス、ベゴニア、サルビア、マリーゴールド…OK！アンゲロニア…今年蒲田駅前花壇でたくさん見たからOKか？「誰かに聞けばいいか！」という安易さがいけない。体力、気力、記憶力衰え気味の私にどうか良いアドバイスを！（小山くみえ）

<今月の会員だよりの同封物>

- ◆活動カレンダー
- ◆「みどりの縁側」だより9月号
- ◆「せせらぎ園芸セミナー」チラシ
- ◆18色の緑づくり応援イベントチラシ（会員1人につき5枚）
- ◆活動アンケート(会員のみ)
- ◆「みどりの縁側」9月スタッフシフト表(会員のみ)